

横浜市関係

- 1—市、横浜市都心臨海部総合整備計画の愛称募集(31)。▽緑政局、季刊広報誌「あぞみち」創刊。三万部発行
- 3—市、市職員への身障者雇用で基本方針。二〇年後に雇用率四〇%達成へ
- 5—市行政管理運営協議会第一回合会
- 7—市農業委員、無投票当選。三年任期
- 10—国鉄と新貨物線反対同盟、和解協定書に調印。一六年ぶり
- 14—市教委、市立中学校卒業者の進路状況調査結果発表、高校進学率九三・九%
- 15—市環境アセス適用第二号の明治学院大学の戸塚校舎建設につき、審査書公告
- 17—横浜マラソン実行委員会(会長・市長)発足。11月29日(日)実施
- 18—沖縄への「交流の船旅」出航(23)。身障者一三人含む四二〇人参加
- 21—県地労委、廃業による組合員の解雇問題をめぐる不当労働行為事件で、瀬谷区の業者に対し解雇たな上げの口頭勧告
- 24—アジア太平洋地域における自治体の都市づくりに関する横浜国際会議(略称「国連・アジア太平洋都市会議」)の参加都市など確定。一六カ国一六都市参加
- ▽市都心臨海部総合整備計画の愛称選考委員九人決定。▽「交流の船旅」、台風一五号余波で一日延期し、横浜港帰着
- 25—横浜スタジアムで、第三回全国中学

自治体・国・社会

- 3—北海道で集中豪雨(16)
- 4—自治省、五十五年政治資金収支報告書公表。収入総額一、二八億四、一〇〇万円。4—県下交通事故死者、五年ぶり全国一位。5—川崎市・人間道路会議共催の「川崎の文化と道」シンポジウム開催。6—住宅宅地審議会、「現行家賃制度の改善について」建設相に答申。7—人事院、五・二三%のべア勧告。11—宇宙開発事業団、種子島から静止気象衛星「ひまわり二号」打ち上げ。14—経済白書「日本経済の創造的活力を求めて」発表。16—新幹線、一三時間二七分の遅れ新記録。18—川崎市と中国瀋陽市、友好都市提携調印。▽大阪府、七月一日現在で八五〇万人突破発表。▽御殿場線輸送力増強促進連盟の代表、国鉄等に輸送力増強陳情。20—郵貯懇、預貯金利一元化を盛り込んだ答申を首相に提出
- 21—全国高校野球、兵庫県の報徳学園が優勝。25—県総合産業政策委員会初会合。27—国鉄と国鉄監査委員会、五十五年度決算と監査報告書を運輸相に提出。赤字一兆八四億円。▽電々公社五十五年度決算・監査報告を郵

横浜市関係

- 校軟式野球大会開幕(29)。▽横浜駅西口メインストリートの愛称、「よこはまパルナード」に決定
- 26—港北区篠原東町会の「町会脱退確認請求事件」で横浜地裁、脱会認める判決
- 28—金沢工業団地(三号地)進出のトップを切って、金沢機械金属団地協同組合の工場建設起工式。▽こども科学館建設反対実行委員会、市長に約八、〇〇〇人の署名添え、二度目の反対陳情
- 1—六都府市の第二回合同防災訓練。▽漁業転業者の生活安定を目指し、鶴横浜市臨海環境保全事業団設立
- 3—県都計審、港北ニュータウンの公園緑地計画など原案通り了承
- 4—「ニューシティ東戸塚」起工式
- 6—三ツ沢競技場で市民運動会
- 7—港湾局、上半期統計速報発表。コンテナ貨物は神戸に次いで二位に
- 9—市人事委、平均五・一二%のべア勧告。▽戸塚区の下水道工事現場で土砂崩れ、出稼ぎ労働者三人死亡
- 10—市、総額一三七億八、四〇〇万円の九月補正予算案発表。▽市長、国連大学本部誘致断念表明
- 13—中区本牧市民公園で中区企画による音楽波止場本牧ジャズ祭開催

自治体・国・社会

- 政相に提出。純利益三、八八一億円。28—首都圏最大の重力式コンクリートダム「宮ヶ瀬ダム」の損失補償基準調印式。30—京都市長選、今川正彦氏初当選。投票率二七・一二%。▽イラン大統領・首相が爆死。31—駐日米大使、外相を訪問し、四月の原潜事故の米政府調査結果報告伝える。▽神奈川婦人の地位向上プラン策定委員会初会合
- 1—中央防災会議主催による第三回「防災の日」。一〇都県で一、二〇〇万人が参加。2—県選管、九月二日現在の有権者数まとめる。四八二万七三八人。
- 4—公取委、眼鏡価格で、小売チェーン店本部などに警告。▽国税庁、五十五年度に決算した大法人の申告所得上位五〇社発表。五〇社の所得の伸びは前年度比五・九%増。6—労働省五十五年労働時間制度調査によると、一人当たり週所定労働時間、四一時間五三分で六年間はば変わらぬ。8—日本初のノーベル賞受賞者、湯川秀樹氏死去(74)。8—厚生省、全国高齢者名簿発表。百歳以上一、〇七二人。9—川崎市人事委、五・

- 14 横濱港港湾管理三〇周年記念、ミナトのシンボルマーク決定。授賞式
- 16 市、新本牧地区土地区画整理事業の開發理念発表。『国際色豊かな街づくり』を目指し、国連関係機関の誘致や、街づくり協定の導入等を打ち出す
- 17 九月定例会市会開会（10/1）
- 19 市、五十七年度予算編成は骨格的予算と発表。▽「みなと経済振興懇談会」に「商業振興」をテーマとした第三の研究グループ発足
- 21 「自治体革新をめざすよこはまの会」結成総会。市長選で独自候補擁立へ
- 24 西区のTVKハウジングプラザ内で障害者モデル住宅落成式
- 26 横濱市美術館基本構想委員会、中間報告で美術文化情報センター構想発表
- 28 市会常任委、下水道使用料の値上げ案を五五％と二％下げ、修正可決
- 30 緑区田園都市線青葉台駅～藤が丘間で、デマンド・バス発進。東急バス運行
- 1 労働省、横濱駅西口の横濱岡田屋内に、「横浜バート・バンク」開設
- 3 市会常任委で、市側より、行革に伴う市財政への影響額二九億九、八〇〇万円と説明
- 5 横濱市都心臨海部総合整備計画の愛称、「みなとみらい21」に決定
- 9 横濱国際港都建設審議会、市長に対

一二％のべア勧告。10 渡辺隆鎌倉市長死去（62）。▽経企庁国民選好度調査によると、「中の上」五％減り四四・三％に。
11 自治省、地方公務員給与実態公表方法提示。12 米大統領、八二年度から三年間に国防費一三〇億ドル削減と発表。14 総理府、六五歳以上人口一、〇九三万人と発表。構成比九三・三％。
15 ポートピア'81閉幕。六カ月間の入場者一、六一〇万二、七五二人。18 仏下院、死刑廃止法案可決。19 国税庁、五十五年の民間企業給与所得者の平均年収、二九五万円と発表。▽厚生省の国民健康調査によると、眼鏡使用者二・七六人に一人。
24 行革法案などを審議する臨時国会召集。30 IOC総会で'88年オリンピック開催地、ソウルに決定。▽中国、台湾に第三次国共合作呼びかけ

1 常用漢字表告示。九五字増加。▽都アセス条例施行。▽大丸デパート、バートを含めた女子社員の新職制度導入。▽住宅都市整備公団発足。3 労働省「五十六年度婦人労働の実情」発表。雇用労働者総数に占める女性の割合は三四・一％。6 文部省の進学状況調査によると

- し、横濱市新総合計画の策定について答申。計画原案「おおむね妥当である」
- 12 横濱大洋、全日程終了し最下位
- 13 在日米海軍小柴貯油所のタンクが爆発炎上。付近住民や小学校児童など、約二、〇〇〇人が避難
- 15 家庭防災予防員の第一回総合訓練会実施。戸塚区の消防訓練センターで、四〇〇人参加。▽建築局の公開建築パトロールで、一五五件中、二八件の基準法違反建築物発見
- 17 洋光台の「こども科学館」建設をめぐり、洋光台第二小で公聴会。▽横濱市中央卸売市場本場開設五〇周年まつり
- 20 市長、新本牧地区の土地取引について、不動産協会などに自粛要請。▽みなと経済振興懇談会の研究第一グループから、「横濱市内の貨物の流れ」について最終報告。道路網整備を訴え
- 26 市建築審査会、市が洋光台に計画している「こども科学館」建設了承。▽市教委、横濱文化賞受賞者五人を発表
- 27 米海兵隊を乗せた米軍艦船LSD、ノース・ドックに入港
- 30 国有財産関東地方審議会、新本牧地区の土地区画整理事業について市計画に合意し、国有地の処分方法を答申
- 31 地下鉄伊勢佐木長者町駅前連絡通路壁面に、橋名板陶壁「橋の詩」完成。除幕式

今春の大学・短大進学率三六・九％。七年ぶりに三七％割る。
▽サグト・エジプト大統領暗殺される。7 横須賀市職員、同市下水道汚職にからみ取附で逮捕
8 電々公社、近畿電気通信局の不正経理事件で八人を免職処分。9 京都市会、「空き缶条例」案可決。10 西独ボンで、核兵器なき欧州をスローガンに二〇万人がデモ。16 FFAO、第一回世界食糧デー。▽北炭夕張炭鉱で、ガス突出・火災事故。犠牲者九三人。▽県地域保健医療調査会、全国初の県患者調査結果発表。疾患別では、消化系が二四・五％で一位。受療率、人口一〇万人当たり四、二八六。17 県人事委、五・〇％のべア勧告。19 ノーベル化学賞に福井謙一京大教授授与決定。22 南北サミット、二カ国参加し、メキシコ・カンクンで開幕。25 神戸市長選、宮崎辰雄氏四選。投票率二〇・四八％。27 経企庁、国民生活白書―生活の質的充実とその課題―発表。29 '81地方の時代・映像祭、川崎で開幕（1頁）。
▽行革法案、衆院通過。▽川崎市職員、宅造汚職で逮捕。31 平塚市で、誤報により地震警戒宣言が広報無線マイクで流れる

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。*印は日付不確定のため新聞発行日。